

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2020年第2号(週報・月報合併号)

2020年第2週(1月6日~1月12日)、月報12月

◆◆注目すべき感染症の動向◆◆

—インフルエンザ：和歌山市、岩出、橋本、湯浅、御坊、田辺、新宮保健所管内で注意報レベル！—

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は16.88人(前週：4.73人)と増加しています。

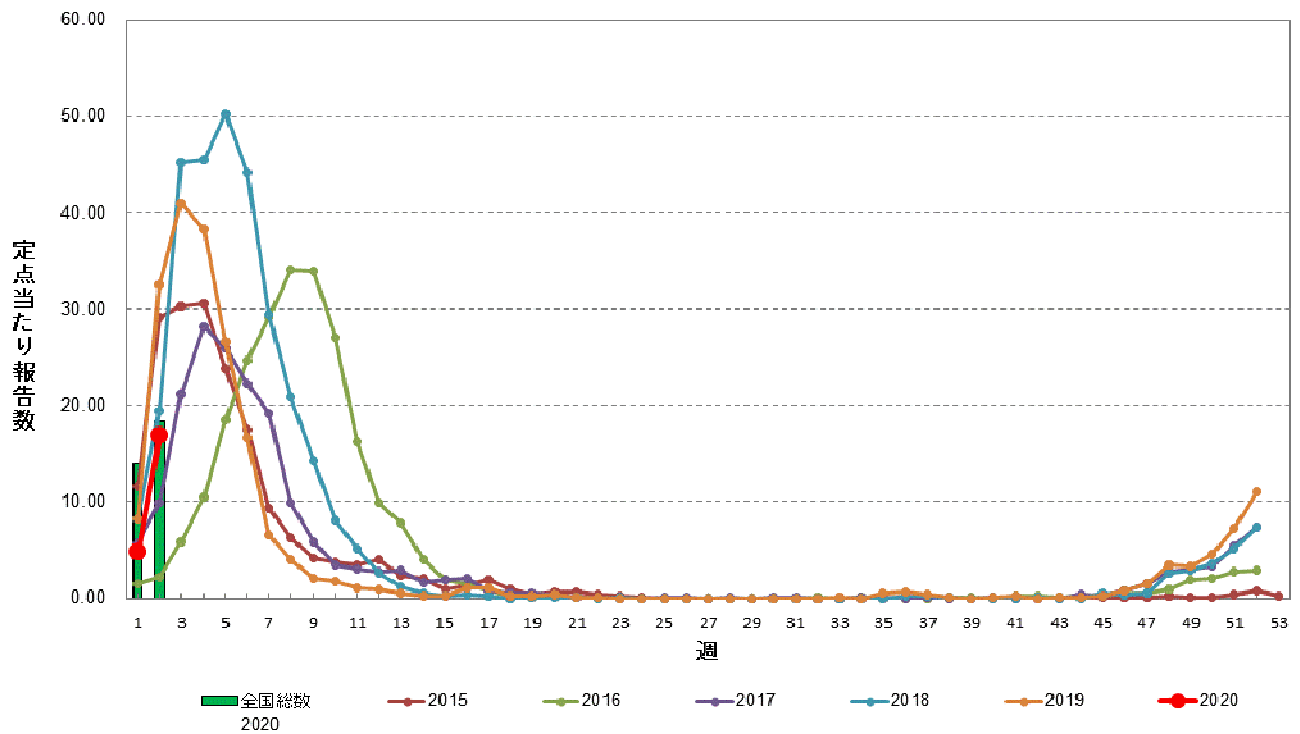
保健所別にみると、新宮保健所管内が26.67人(前週：4.67人)と最も多くなっており、次いで岩出保健所管内が22.33人(前週：7.67人)、和歌山市保健所管内が20.47人(前週：3.53人)となっています。海南保健所管内と串本支所管内を除く7保健所管内で注意報レベルとなっています。

全国の定点あたり患者報告数は18.33人(前週：13.93人)と増加しています。

感染を予防するために、ワクチンを接種し、うがい・手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

インフルエンザに関するQ&A(令和元年度版)はこちら：(厚生労働省HP)

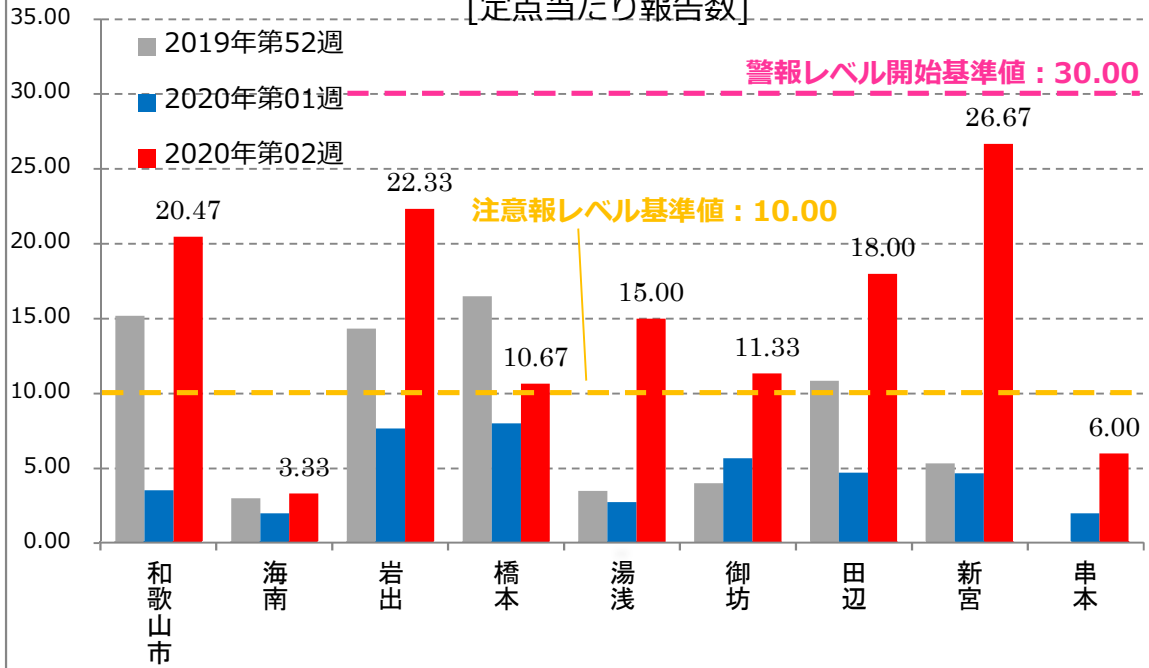
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>



インフルエンザ(和歌山県)

インフルエンザ-管内集計区分別

[定点当たり報告数]



一 伝染性紅斑：岩出、田辺保健所管内で警報レベル！過去5年間の同時期に比べ多い状況。一

伝染性紅斑は、ほっぺがりんごのように赤くなるのでりんご病ともよばれ、ヒトパルボウイルスB19というウイルスが原因で幼児期～学童期に多くかかる感染症です。

県全体の定点当たり患者報告数は、1.30人（前週：0.17人）と増加し、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

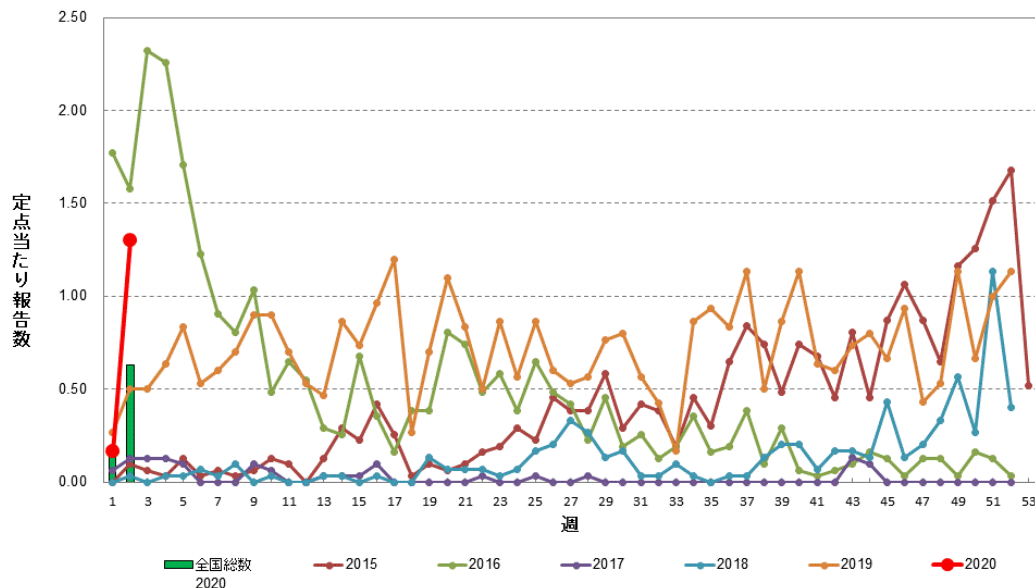
保健所別では、田辺保健所管内が3.50人（前週：0.00人）と最も多く、次いで岩出保健所管内が2.50人（前週：0.25人）で、いずれも警報レベルとなっています。

全国的には患者報告数は0.63人（前週：0.17人）となっています。

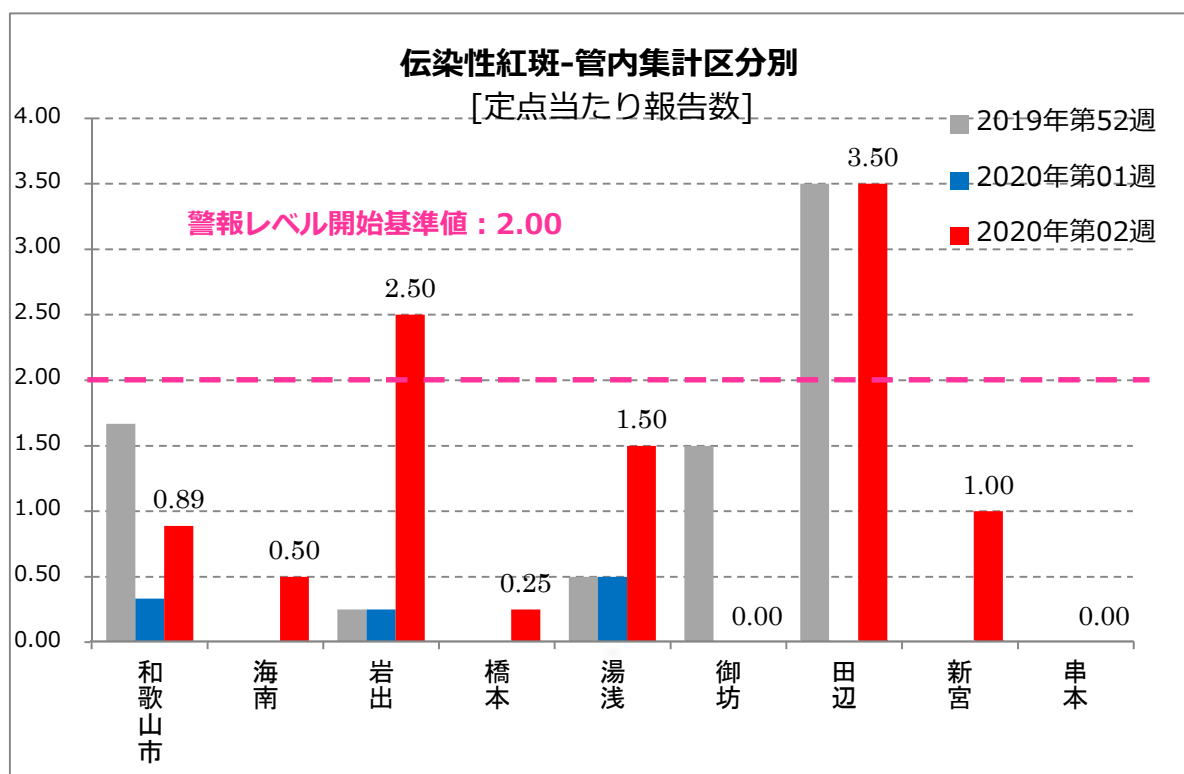
この疾病の感染経路は飛沫感染および接触感染です。感染予防のために手洗いうがいを励行しましょう。

伝染性紅斑に関する説明はこちら：（国立感染症研究所HP）

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.html>



伝染性紅斑(和歌山県)



一 感染性胃腸炎：県全体の患者報告数は増加。過去5年間の同時期に比べやや多い状況。一

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルスやロタウイルスが主な原因です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は4.13人（前週：1.70人）と増加し、過去5年間の同時期に比べやや多い状況となっています。今後患者報告数が増加していくことも予想されますので注意してください。

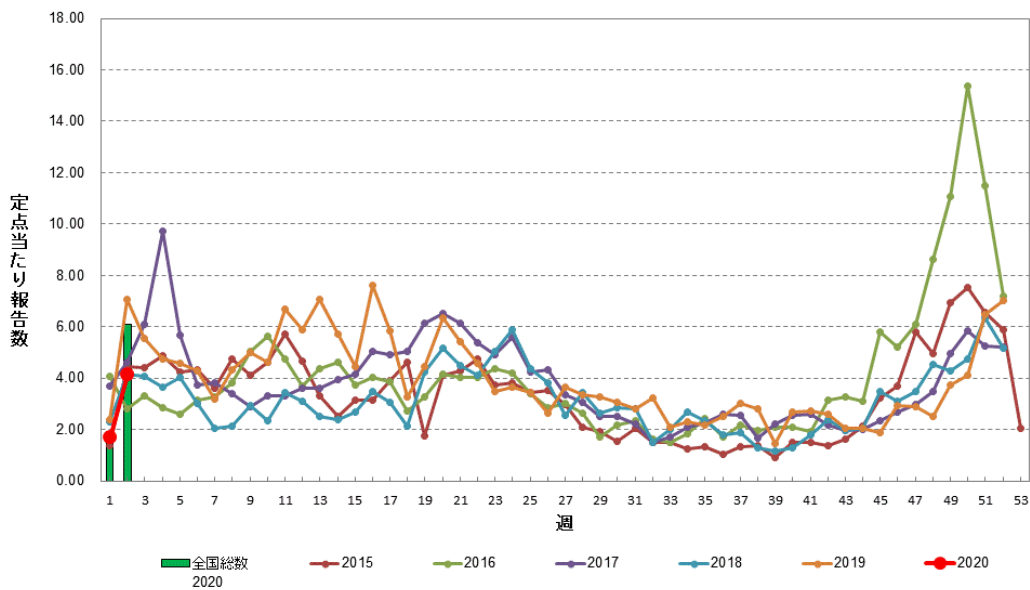
保健所別にみると、岩出保健所管内が6.75人（前週：2.25人）と最も多くなっています。

全国的には患者報告数は6.09人（前週：1.79人）と増加しています。

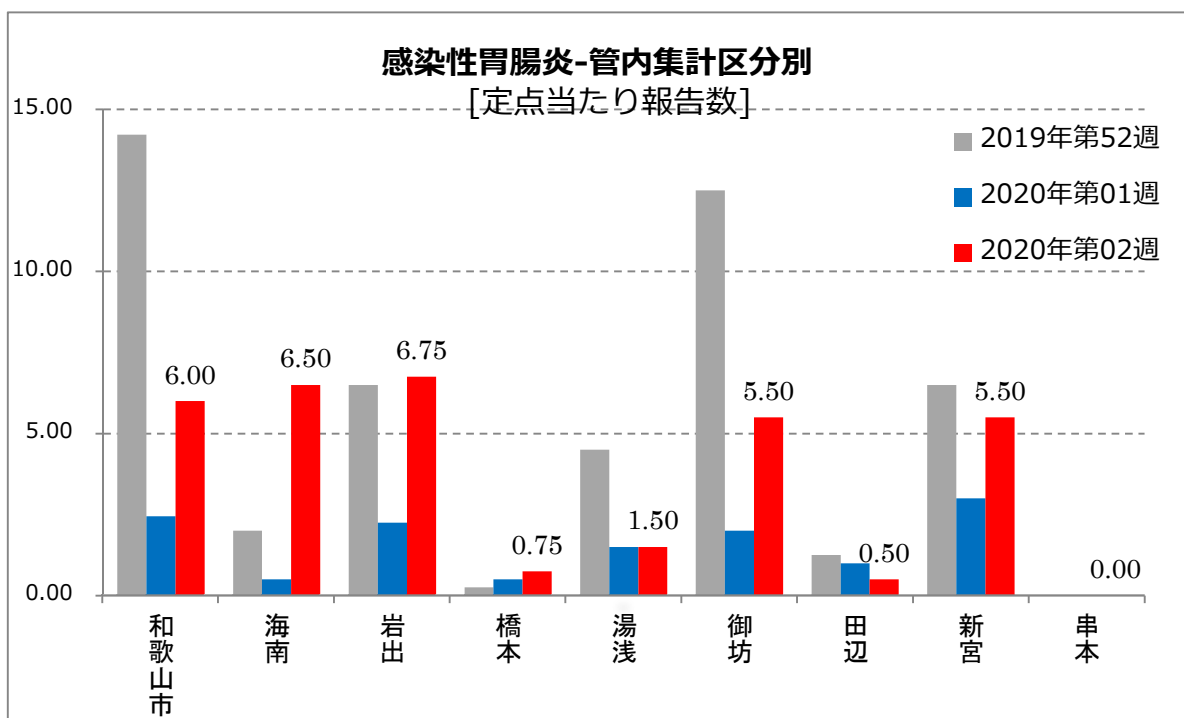
ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/383-intestinal-intro.html>)



感染性胃腸炎(和歌山県)



◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 4名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：百日咳 4名

(2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	4
急性脳炎	1
百日咳	4

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

伝染性紅斑（岩出保健所管内、田辺保健所管内）

注意報レベル

インフルエンザ（和歌山市保健所管内、岩出保健所管内、橋本保健所管内、湯浅保健所管内、御坊保健所管内、田辺保健所管内、新宮保健所管内）
水痘（和歌山市保健所管内）

定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	827	3	11	46	32	37	44	69	53	34	47	36	101	40	40	48	58	53	51	16	8
	定当	16.88	0.06	0.22	0.94	0.65	0.76	0.9	1.41	1.08	0.69	0.96	0.73	2.06	0.82	0.82	0.98	1.18	1.08	1.04	0.33	0.16

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	28	4	9	5	3	4	2	-	-	-	1	-	-	-	-
	定当	0.93	0.13	0.3	0.17	0.1	0.13	0.07	-	-	-	0.03	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	16	-	1	2	4	2	2	-	1	-	1	-	2	-	1
	定当	0.53	-	0.03	0.07	0.13	0.07	0.07	-	0.03	-	0.03	-	0.07	-	0.03
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	24	-	1	1	1	1	4	5	2	-	-	4	5	-	-
	定当	0.8	-	0.03	0.03	0.03	0.03	0.13	0.17	0.07	-	-	0.13	0.17	-	-
感染性胃腸炎	報告	124	-	5	24	18	6	7	10	19	7	3	6	14	1	4
	定当	4.13	-	0.17	0.8	0.6	0.2	0.23	0.33	0.63	0.23	0.1	0.2	0.47	0.03	0.13
水痘	報告	20	-	1	1	1	-	-	1	2	3	2	3	6	-	-
	定当	0.67	-	0.03	0.03	0.03	-	-	0.03	0.07	0.1	0.07	0.1	0.2	-	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	39	-	-	4	6	1	2	7	9	3	2	2	3	-	-
	定当	1.3	-	-	0.13	0.2	0.03	0.07	0.23	0.3	0.1	0.07	0.07	0.1	-	-
突発性発しん	報告	9	-	4	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.3	-	0.13	0.13	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	307	10	134	64	60	34	126	80	12
	定当	20.47	3.33	22.33	10.67	15	11.33	18	26.67	6
RSウイルス感染症	報告	15	-	1	-	1	2	1	8	-
	定当	1.67	-	0.25	-	0.5	1	0.25	4	-
咽頭結膜熱	報告	10	-	2	2	-	1	1	-	-
	定当	1.11	-	0.5	0.5	-	0.5	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	5	-	3	1	-	4	2	9	-
	定当	0.56	-	0.75	0.25	-	2	0.5	4.5	-
感染性胃腸炎	報告	54	13	27	3	3	11	2	11	-
	定当	6	6.5	6.75	0.75	1.5	5.5	0.5	5.5	-
水痘	報告	15	-	3	-	1	-	-	1	-
	定当	1.67	-	0.75	-	0.5	-	-	0.5	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	8	1	10	1	3	-	14	2	-
	定当	0.89	0.5	2.5	0.25	1.5	-	3.5	1	-
突発性発しん	報告	6	-	1	-	1	-	1	-	-
	定当	0.67	-	0.25	-	0.5	-	0.25	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	2	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	2	…	…
細菌性髄膜炎	報告	1	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	3	…	1	1	-	-	1	-	…
	定当	1	…	1	0.5	-	-	0.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

12月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が1.82人(先月:1.73人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の75%となっています。

【12月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	20	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	2	-	15
	定当	1.82	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	0.18	0.18	-	1.36
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症報告 (WIDR) 2020 年第 2 号

発行日：令和 2 年 1 月 17 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/idsw/d00153659.html>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目 1 番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。